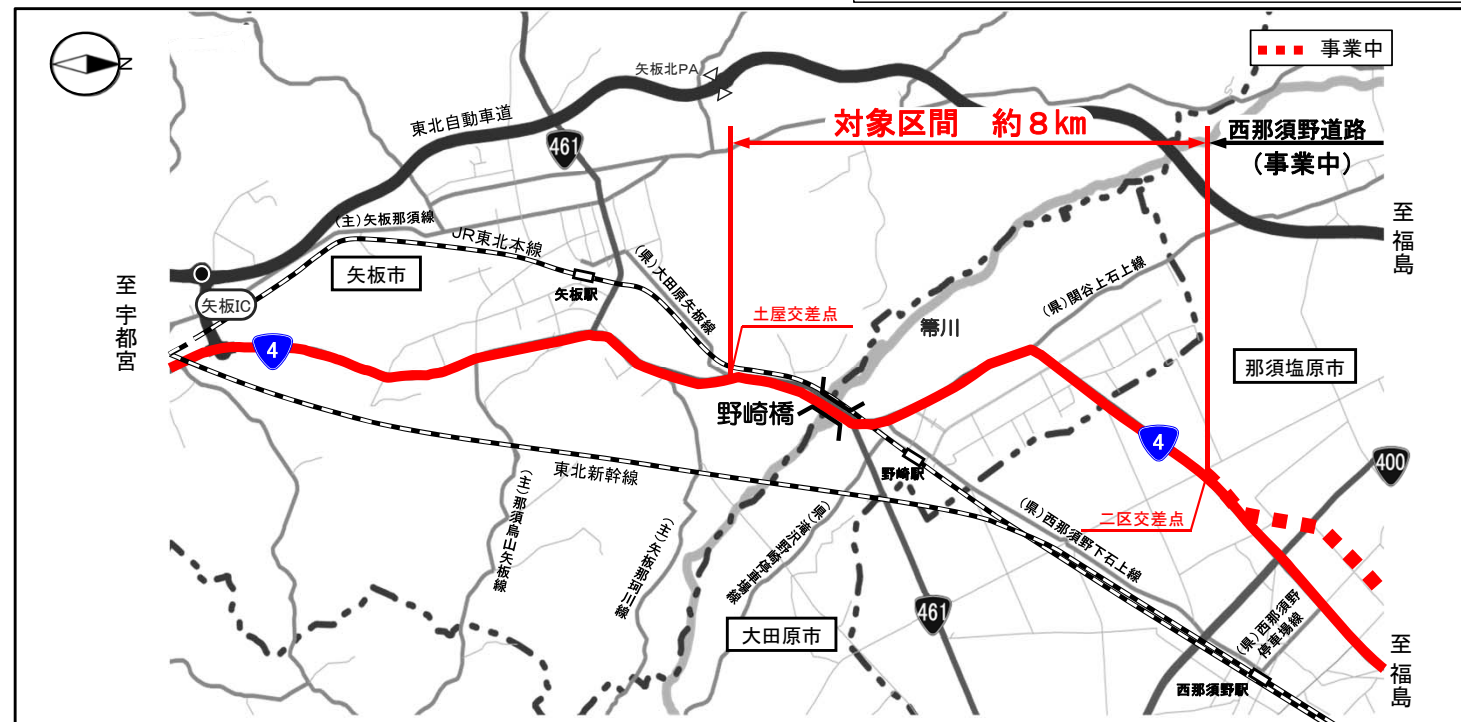
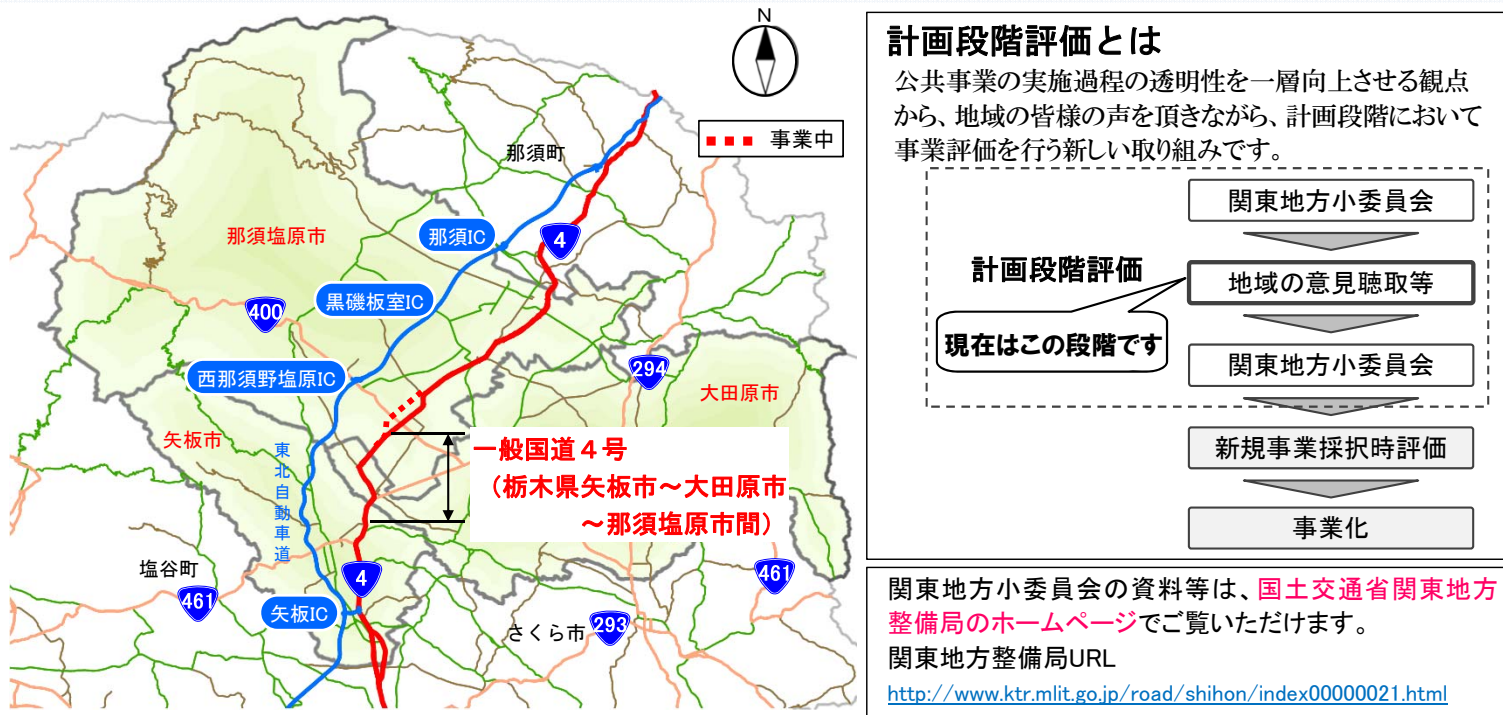


一般国道4号 栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間の
計画検討に関する地域の意見聴取(第2回)

一般国道4号は、東京都中央区の日本橋を起点とし、青森県青森市に至る国内最長で関東と東北とを結ぶ大動脈・主要幹線道路です。

一般国道4号の栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間においては、交通集中による速度低下や、野崎橋が寸断した場合に広域な迂回が生じる、沿道環境が悪いなどの課題が見られますので、その解決に有用な道路整備の計画検討を進めています。

第2回地域の意見聴取(今回)では、第1回地域の意見聴取で頂いたご意見をもとに、ルート帯案を選ぶ際に重視すべき項目等についてご意見をお聞きしたく、ご協力をお願いします。



お問い合わせ先



国土交通省 関東地方整備局
宇都宮国道事務所 調査課

〒321-0931 栃木県宇都宮市平松町504
TEL 028-638-2185(直通)
ホームページ : <http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>

第1回地域の意見聴取について

第1回地域の意見聴取は、平成26年2月6日から3月7日まで約1ヶ月間実施しました。

意見聴取は、住民の皆さまへは、調査票を郵送にて配布、その他に留置き・Webなどを実施、関係団体の皆さまへは、調査票を郵送にて配布し、ご意見をお聞きました。また、関係団体の皆さまへヒアリングを実施し、様々なご意見をお聞きました。

【住民の皆さまへの意見聴取】

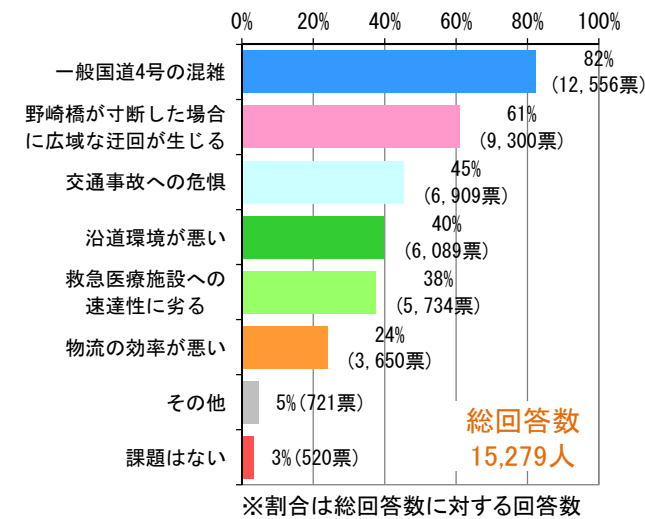
調査票形式

郵送・留め置き・Webの3種類の方法で実施し、合計で15,279人からの回答を頂きました。

配布方法	配布回収部数		
郵送配布 郵送回収 留置き	配布数	88,200部 住民 87,600部 留置き 600部	回収数計 15,279部
	回収数(回収率)	14,893部 (17%)	
Web	回収数	386部	

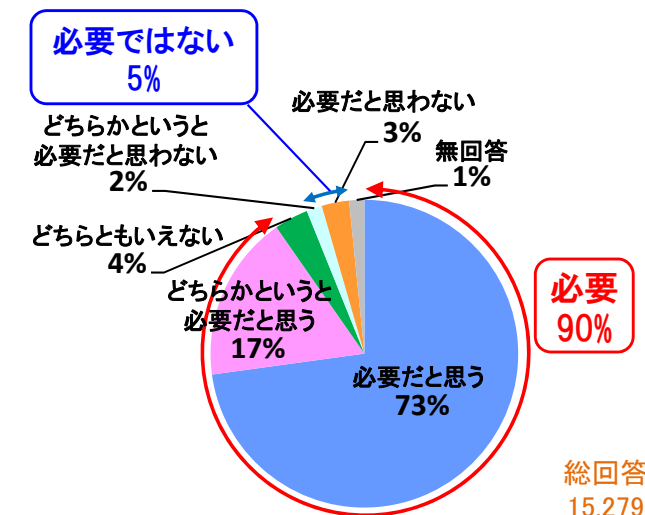
【地域の課題】

地域の課題について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。



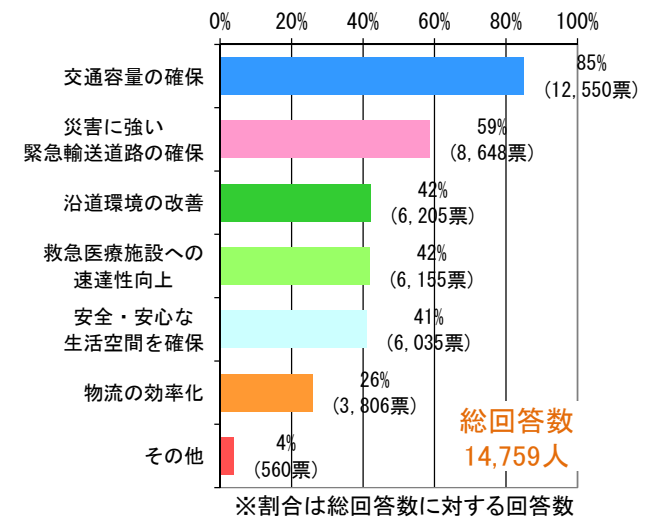
【道路整備の必要性】

道路整備の必要性について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。



【課題を解決するための目標】

6つの政策目標について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。



【今後の道路整備にあたって配慮すべき事項】

全意見数9,022件のうち最も多かった主な意見。

- ・矢板市土屋から野崎橋間はいつも混雑している。
早く片方2車線にして欲しい。（3,232件）
- ・下石上地区は車道が狭く、カーブもあるので大型車と
すれ違う時に非常に危険を感じる。（2,594件）
- ・下石上地区の状況は悲惨。住民にとって騒音や排気ガスは
本当にひどい。（620件）
- ・東北道の通行止め時、野崎橋寸断時、東日本大震災時は
国道4号などが非常に混雑した。災害時にも強い道路に
してほしい。支援物資や自衛隊車両が通行できないのは
大変不安。（373件）

※カッコ()内の件数は、主な意見に類似する意見の件数

【関係団体の皆さまへの意見聴取】

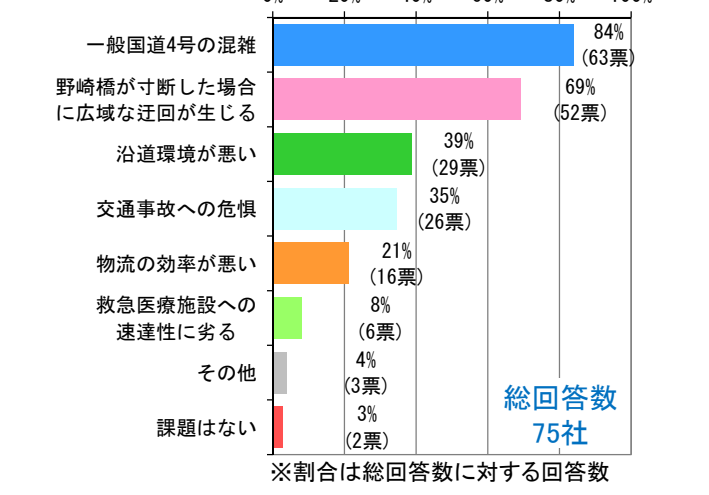
調査票形式

平成26年2月に郵送にて配布し、75社からの回答を頂きました。

対 象	配布数	回収数 (回収率)
工業団地 会員企業 (さくら市、矢板市、大田原市、 那須塩原市、那須町)	108社	75社 (35%)
栃木県トラック協会塩那 支部 会員企業	109社	
合計	217社	

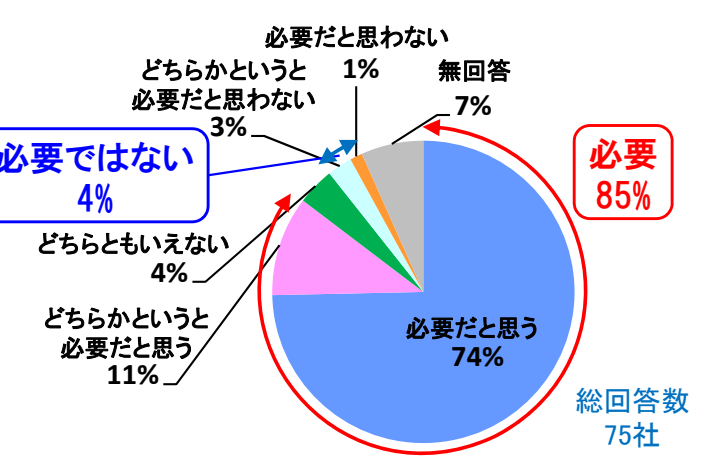
【地域の課題】

地域の課題について、関係団体の皆さまから意見を頂き、確認しました。



【道路整備の必要性】

道路整備の必要性について、関係団体の皆さまから意見を頂き、確認しました。



まとめ 地域の課題や道路整備の必要性についてとりまとめました

- 第1回地域の意見聴取で掲示した政策目標は、地域が感じている一般国道4号の主な課題を網羅。
- 住民と関係団体の回答いただいた皆さまの多くが、道路整備の必要性を感じている。

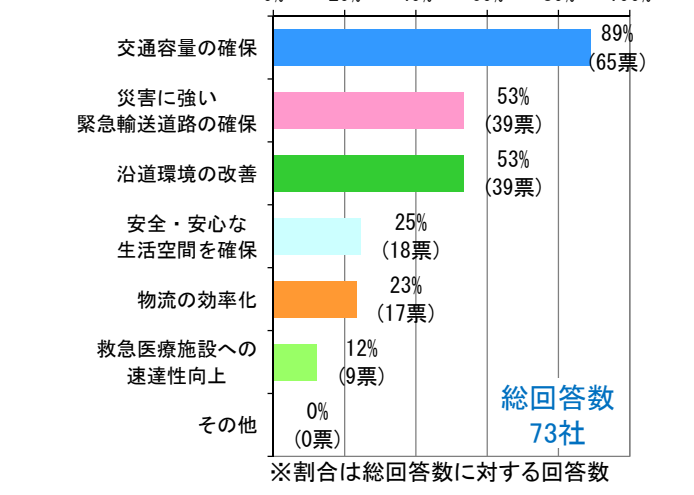
ヒアリング

各業界の関係団体の皆さまへヒアリングを実施し、意見をお聞きしました。

対 象	実施状況
教育機関（小学校、中学校）	3
工業団地連絡協議会	2
トラック協会	7
経済団体（商工会議所、観光協会）	11
農業協同組合	2
消防本部	3
自治会	2
合計	30

【課題を解決するための目標】

6つの政策目標について、関係団体の皆さまから意見を頂き、確認しました。



【今後の道路整備にあたって配慮すべき事項】

全意見数41件のうち、最も多かった主な意見。

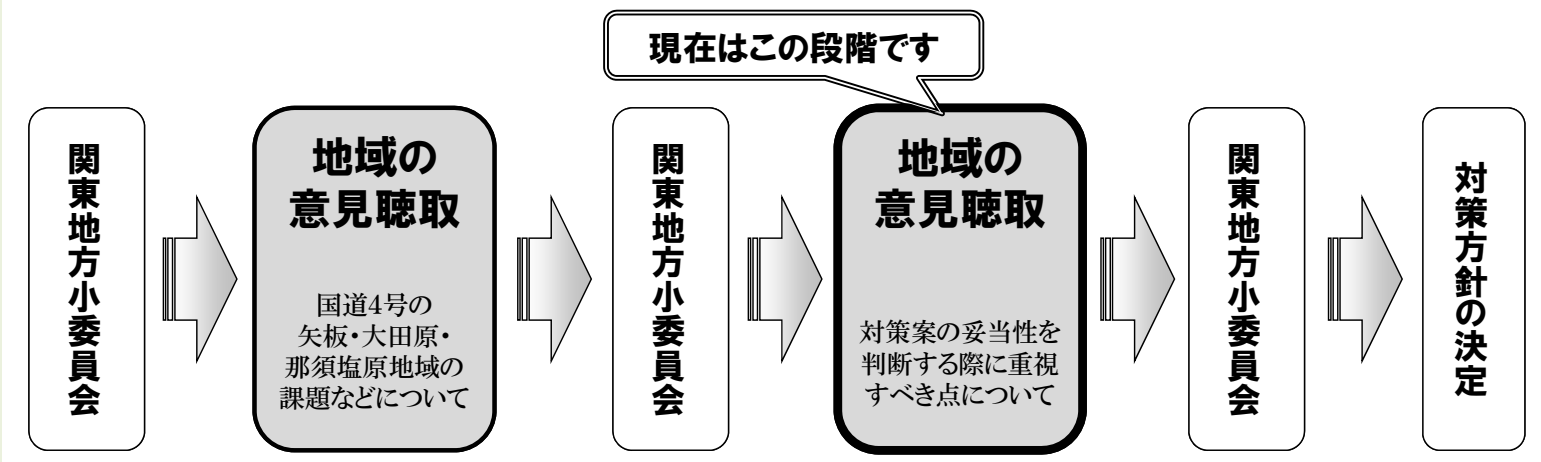
- 大型トラックが多く、朝夕の慢性的に渋滞が発生しているので、渋滞緩和のために道路整備が必要。（17件）
- 下石上地区は大型車両同士がすれ違う場合、（ドライバーとしても歩行者としても）圧迫感を感じる。歩道と車道を広げて欲しい。（9件）
- 一般車と工業利用の車両が別れて利用できると良い。（1件）

※カッコ()内の件数は、主な意見に類似する意見の件数

必要とされる道路整備に向けて「矢板・大田原・那須塩原地域の政策目標を達成するための機能」を有するルートを検討

地域の意見聴取のチラシをご覧頂き、皆様のご意見をお聞かせください。

手続きの流れ



地域の意見聴取の回答方法、実施期間

- 回答は添付の返信用ハガキにご記入ください。また、インターネットによる回答も可能となっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
宇都宮国道事務所 Webページ
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>
- 回答用の郵便ハガキは、お近くのポストへ **平成26年〇月〇日(〇)** までに投かんをお願いします。
- ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

回答用の郵便はがきの記入例

・**単一回答**の設問は、あてはまる番号を**1つだけ**チェック(☑)してください。

・**自由回答**の設問やその他の選択肢をチェックした場合は、具体的な内容を回答してください。

矢板・大田原・那須塩原地域の現状について、地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合は除きます)

郵便はがき

321-8790 468

栃木県宇都宮市平松町 504

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 調査課 行

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞かせください。

年齢 □10代 □20代 ☒30代 □40代 □50代 □60代 □70代以上

職業 ☒会社員 ☐公務員・自営業・農業 ☐漁業・学生・主婦 その他() 性別 ☒男 ☐女

住所 [栃 木] 都・道・府・県 [大 田 原] 市・町・村 地区名 [下 石 上]

運転免許 ☒あり ☐なし

地域の意見聴取(第1回) ☒回答した ☐回答していない

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます。)

<裏面>

質問	回答欄
①	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5
②	☒ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4 ☐ 5
③	☒ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4 その他()
④	☒ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5
⑤	
⑥	☒ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☒ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9 ☐ 10 ☐ 11 ☐ 12 その他()
⑦	騒音や渋滞がひどく困っているの、騒音や振動をなくし、安心して生活できるようにしてほしい。
⑧	国道4号はトラックが多く、圧迫感があり怖い、国道4号の利用をなるべく避けたい。
⑨	☒ 1 ☐ 2

ご協力ありがとうございました。

一般国道4号 栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間における課題解決のための目標を定めました。

地域の課題として、道路の混雑、広域な迂回、沿道環境、交通事故、物流、医療について整理を行いました。その地域の課題から政策目標の案を決定し、第1回地域の意見聴取において、地域の皆さまからご意見を頂き、課題を解決するための目標を以下のとおり定めました。

課題 1 一般国道4号の混雑

一般国道4号に大田原矢板線及び一般国道461号が合流する野崎橋付近に交通が集中し、朝夕に速度低下が発生しています。

目標 1 混雑の緩和



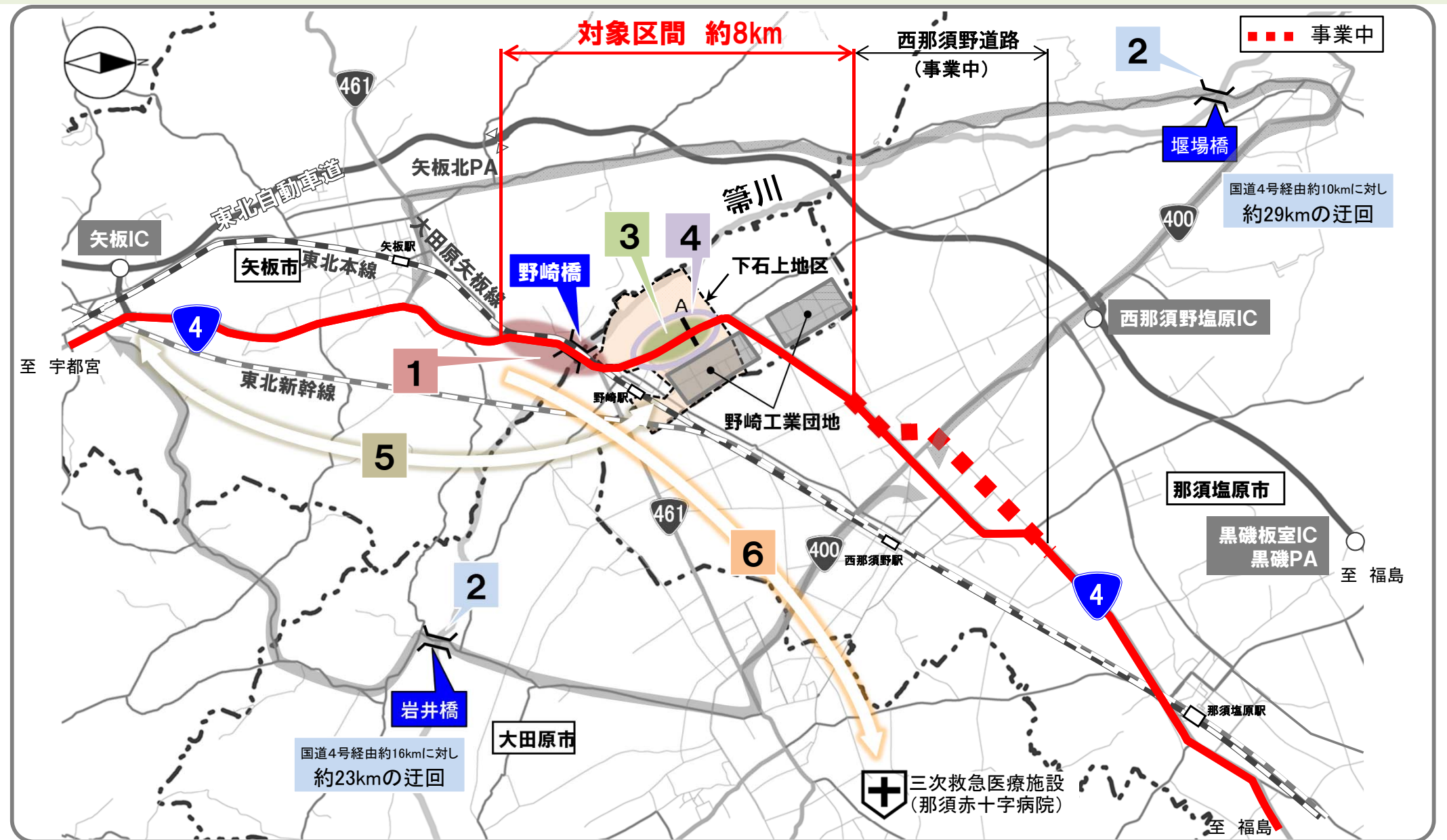
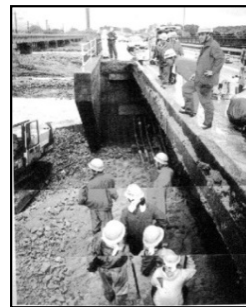
課題 2 野崎橋が寸断した場合に広域な迂回が生じる

一般国道4号の代替路となりうる一般道の緊急輸送道路が近隣にありません。平成10年の大雨災害では、野崎橋が5日間通行止めとなり、広域な迂回を余儀なくされました。東日本大震災時は、一般国道4号が通行止めとなった東北道の代替路となり、速度低下が発生しました。

目標 2 災害に強い緊急輸送道路の確保

【野崎橋の被災状況】

※平成10年8月豪雨で5日間全面通行止め



課題 3 沿道環境が悪い

一般国道4号の大田原市下石上地区は、歩道や車道が狭く沿道に住宅が立ち並んでいますが、大型車が多く走行し、騒音が深刻です。排気ガス、エンジン音による健康被害を心配する声もあります。

目標 3 沿道環境の改善

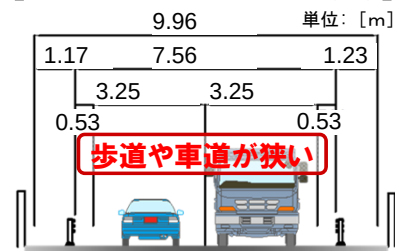
【夜間の大型車交通】



【下石上地区の大型車】



【下石上地区の道路断面(A)】



【下石上地区の通学状況】



課題 4 交通事故への危惧

一般国道4号の大田原市下石上地区において、歩道や車道が狭く急カーブがある区間を、多くの大型車が通行しており、非常に危険な所を通学路として使用されています。大型車両の風圧だけでも恐怖を感じているとの声もあります。

目標 4 安全・安心な生活空間を確保

課題 5 物流の効率が悪い

野崎工業団地内の企業からは、矢板ICが近く好立地にありながらそのメリットを生かせていない、物流の非効率率は製造業にとって致命傷との声があります。

目標 5 物流の効率化

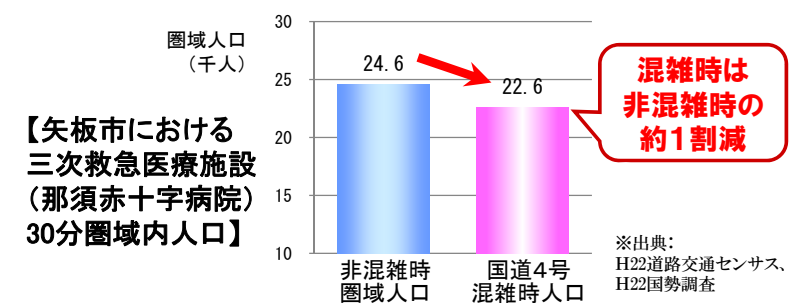
【野崎橋付近の渋滞】



課題 6 救急医療施設への速達性に劣る

一般国道4号の混雑時は、三次救急医療施設へ30分以内で搬送できる人口が、非混雑時に比べ約1割減少します。

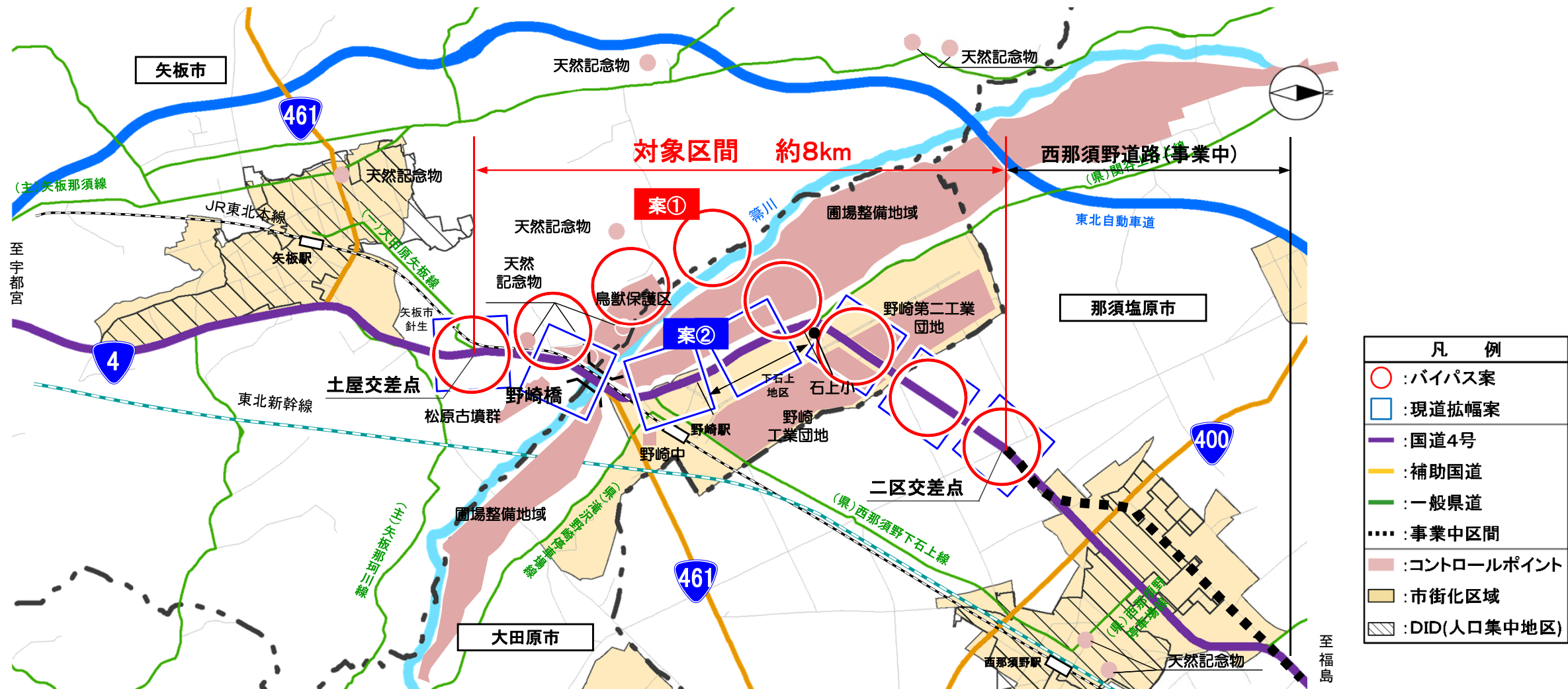
目標 6 救急医療施設への速達性向上（搬送時間の短縮）



以上のような政策目標を達成するための機能を有する道路となるよう検討を進めます。

一般国道4号 栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間のルート帯の案

矢板市～大田原市～那須塩原市間における政策目標を達成するための機能を有する道路として、ルート帯の案(500m帯)を作成しました。



比較案		【案①】バイパス案	【案②】現道拡幅案
ルート案の趣旨		箒川渡河部及び石上小周辺をバイパス整備し、残りの区間は現道2車線を拡幅する案	現道2車線を拡幅する案
政策目標	混雑の緩和	・ 箒川渡河部及び石上小周辺をバイパス整備することで交通転換が図られるとともに、現道を拡幅する区間でも交通容量(車線数)の確保により、現道の混雑が緩和される。	・ 交通容量(車線数)の確保により、現道の混雑が緩和される。
	災害に強い緊急輸送道路の確保	・ 箒川渡河部をバイパス整備することにより、新たな代替路が確保されるため、野崎橋が寸断しても広域な迂回が回避できる。	・ 野崎橋近隣に新たな橋梁が設置されるため、緊急輸送道路が強化されるが、新たな代替路は確保されない。
	沿道環境の改善	・ 石上小周辺をバイパス整備することで交通転換が図られ、現道の交通量減少により騒音や排ガスなどが低減し、家屋連担地の沿道環境が改善される。	・ 大型車などの交通が現道を通過するため、騒音や排ガスなどの低減が見込まれず、沿道環境は現状とあまり変わらない。
	安全・安心な生活空間の確保	・ 石上小周辺をバイパス整備することで交通転換が図られるため、現道の大型車交通量の減少により、家屋連担地の安全・安心な生活空間が確保される。	・ 現道拡幅により歩道や車道が広がり、歩行スペースや走行スペースが確保されるため、家屋連担地である下石上地区の安全・安心な生活空間が確保される。
	物流の効率化	・ 箒川渡河部及び下石上地区・石上小周辺をバイパス整備することにより、交通容量が確保されるとともに、現道を拡幅する区間でも交通容量が確保されるため、混雑緩和により高速ICまでの定時性が向上する。	・ 現道拡幅により交通容量が確保されるため、現道の混雑緩和により高速ICまでの定時性が向上する。
	第三次救急医療施設への速達性	・ 箒川渡河部をバイパス整備することで交通転換が図られるため、現道の混雑緩和により、三次救急医療施設への速達性が向上する。	・ 車線数増加により救急車両優先の走行スペースが確保でき、三次救急医療施設への速達性が向上する。
その他	自然環境への影響	・ バイパス区間では、天然記念物(植物、動物の繁殖地)に影響を与える可能性があるため、配慮が必要。	・ 天然記念物(植物、動物の繁殖地)は回避しており、影響を与える可能性は小さい。
	沿道施設への出入り	・ バイパス区間では、沿道施設への出入りは想定していない。現道を拡幅する区間では、車線数増加により道路幅員が広がるため、沿道への出入りが困難となる。	・ 車線数増加により道路幅員が広がるため、沿道への出入りが困難となる。
	地域分断	・ バイパス区間では、一部地域が分断され、道路を拡幅する区間では、車線数増加により沿道出入りや横断が困難となるため、一部地域で分断が生じる。	・ 車線数増加により市街地で沿道出入りや横断が困難となるため、地域分断が生じる。
	影響する家屋数等	約50棟 (宅地面積:約2万㎡)	約140棟 (宅地面積:約6万㎡)
	事業費	約230～270億円	約260～300億円

質問票

地域の意見聴取のチラシをご覧ください、以下の質問について、皆様のご意見を返信用ハガキに記入し、投函してください。ご協力よろしくお願いいたします。

質問① 利用頻度

国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の利用頻度についてあてはまる番号を1つ選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。

1	毎日	
2	週に数回程度	
3	月に数回程度	
4	ほとんど利用したことがない	
5	利用したことがない	質問④へ

質問② 国道4号の移動手段

矢板市～大田原市～那須塩原市間の国道4号を通行する際の主な移動手段についてあてはまる番号を全て選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。(複数回答可)

1	自動車	
2	公共交通（バス・タクシー）	
3	バイク	
4	自転車	
5	徒歩	

質問③ 国道4号の利用目的

国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。(複数回答可)

1	通勤・通学	
2	仕事（営業・運送など）	
3	私用（日常的な買い物・食事など）	
4	その他[※具体的な内容を記入してください]	

質問④ 第1回地域の意見聴取の結果

第1回地域の意見聴取（平成26年 2月～3月）の結果について妥当だと思いますか？あてはまる番号を1つ選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。

1	妥当だと思う	
2	どちらかと言うと妥当だと思う	質問⑥へ
3	どちらとも言えない	
4	どちらかと言うと妥当だと思わない	
5	妥当だと思わない	質問⑤へ

質問⑤ 結果が妥当だと思わない理由

妥当だと思わない理由についてお聞かせ下さい。

(自由回答)

〈質問⑥へ〉

質問⑥ ルート帯を選ぶ際に重視すべき事項

今回、2つのルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？特に重要だと思われる番号を3つまで選び、回答欄の□にチェックをつけて下さい。

1	交通混雑を緩和する円滑な道路	
2	災害時に強い緊急輸送道路	
3	家屋連担地域における沿道環境を改善する道路	
4	安全・安心な生活空間を確保する道路	
5	物流効率化を図る道路	
6	広域化する救急搬送の搬送時間を短縮する道路	
7	自然の改変が少ない道路	
8	沿道施設へ出入りしやすい道路	
9	地域分断の少ない道路	
10	支障家屋の少ない道路	
11	事業費が経済的な道路	
12	上記項目を重視すべきと思う理由、または、上記以外で重視すべきと思う項目について、ご自由にお書きください。	

質問⑦ ルート検討の際に配慮すべき事項

⑥でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせください。

(自由回答)

質問⑧ その他

その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

(自由回答)

※ハガキは、お近くの郵便ポストへ
平成26年〇月〇日(金)までに投函をお願いします。

ご協力ありがとうございました。